

レッツエンジョイ！ペレットストーブライフ！ 先輩ユーザーに聞きました！ ～ 事業所編 ～



たいらスキー場（南砺市平地域）

今回お話をお伺いした方

たいらスキー場 チーフマネージャー 高桑さん
ロッジ峰 支配人 齋藤さん



ペレットストーブはいつから使用していますか？

当スキー場で冬季国体が開催された2020年から、管理棟とレストランのメープル、レストラン兼宿泊施設のロッジ峰に1台ずつ、計3台を設置し使用しています。

ペレットストーブの使い心地や、お客さんの反応はどうですか？

スイッチをONするとすぐに火が着き、じんわりと室内が暖まります。マッチやライター等を使用する必要がなく、取り扱いが安全なところも良いと思います。また、昨今の原油価格高騰の影響でしょうか、お客様からコスト面や使いやすさ等について、聞かれることが多くなりました。



管理棟のハマーンP68

ペレット燃料はどこのもを使用していますか？

地域の木材を原料に製造された「なんとペレット」を使用しています。地元の製造事業者から購入し、当スキー場のほか、たいらクロスカントリー場にもペレットストーブがあり、現地まで定期的に配達してもらっています。

今年も大きなスキー大会が目白押しですね。

今年は17年ぶりの県内開催となる冬季全国高校総体のほか、全日本ジュニアスキー選手権大会など大きな大会があります。たくさんのお客様に満足いただけるよう、ペレットストーブも含めて最高の環境を整えてお迎えしたいと思います。

メープルのエコティPR02 ▶



ロッジ峰のディアフィールド



ストーブ機種（メーカー、型式、導入費用）

- ・管理棟：ダッチウエストジャパン(株)、ハマーンP68、約66万円
- ・ロッジ峰：トラビスインダストリーズ、ディアフィールド、約90万円
- ・メープル：(株)西村精工、エコティPR02、約60万円

ペレットストーブの使用期間：12月中旬～3月下旬

1日の使用頻度：7～8時間 ※ロッジ峰は宿泊客がいる場合、約12時間

1シーズンのペレット使用量：管理棟 1,500kg、ロッジ峰 500kg、メープル 300kg